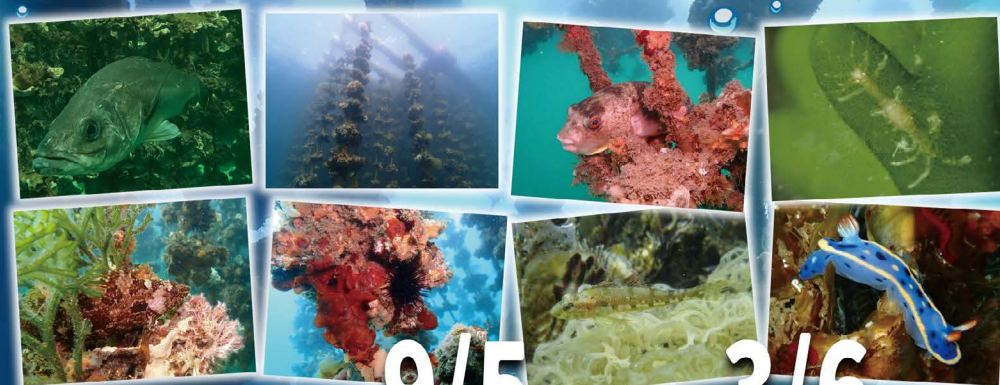


江田島近海にある
およそ8000台のかき筏の下
そこにはどんな世界があって
どんな生き物がいるのだろう？

写真やイラスト、標本などを通して、かき筏の生き物
たちと広島のかき筏養殖について紹介します。



会期 2026/9/5 sat ~ 2027/3/6 sat

8:30~17:15 (土曜は9:00~17:00)

休館日 日・祝日 年末年始(12/27~1/4)

会場 さとうみ科学館3階 多目的ルーム

特別企画展

牡蠣筏の
生き物展

入場
無料

船の科学館
海の学び
ミュージアム
サポート

会期中は企画展の関連イベントを開催します。さとうみ科学館ホーム
ページまたはニュースレター「マリノライフ」等で随時案内します。

主催：大柿自然環境体験学習交流館（さとうみ科学館） 問合せ：☎0823(57)2613

栗原恵の愛おしい時間

江田島市子育て応援大使

家族ができて一番よかったと感じるのは、「安心感」や「居場所」を持てたこと。
一人だった頃は自由に、それなりに満喫しているつもりだったけれど、家族ができ
子供をもった今、家に帰ると自分の全てを丸っと受け入れてくれる家族がいるとい
うことは、とても心地よくて私の大きな支えになっています。

親になったからといって、完全な自分になれる訳ではなくて。まだまだ不完全な
自分だからこそ、子供にも完璧を求めず、ノビノビと育ててほしいと思っています。

意思表示ができるようになってきて、感情をまっすぐに表現する息子の姿に、自
分の中で忘れかけていた何かを思い出させてもらっている感覚になります。(笑)

大人になるということは、色んなことを経験して学んでいくけど、時には自分の
心や思いとは違うことを受け入れることも必要で。気持ちのいいくらいに(笑)自分
の感情を伝えてくれる息子の姿に「それいいね～」とニヤリとしてしまうこともあ
ります。

完璧なママにはなれなくても、あなたに誇れるような人になれるよう頑張るし、
どんな時もあなたの味方でいるよ。

あなたの存在がママ達の支えだし宝物です。 ありがとう。



◀市HPでは栗原恵さん
本人直筆の文を掲載
しています。

栗原恵さんの子育てについては、
本人のInstagramをご覧ください▶



江田島市公式LINE

質問に答え、受信設定すれば

ほしい情報をお届け！

Q @ etajimacity



広報えたじま 第263号 (毎月1日発行)
発行／江田島市 編集／江田島市企画部企画振興課
〒737-2297 広島県江田島市大柿町大原505番地
☎0823 (43) 1630・FAX0823 (57) 4433

「広報えたじま」は、ホーム
ページでご覧になれます。

広報えたじま

